



岩手県立雫石高等学校

創立
開校記念
所在地

昭和23年5月2日

5月2日

020-0544

岩手県岩手郡雫石町柿木36-1

電話

019(692)3254 (職員室)

019(692)3249 (事務室)

FAX

019(692)3460 (職員室)

URL

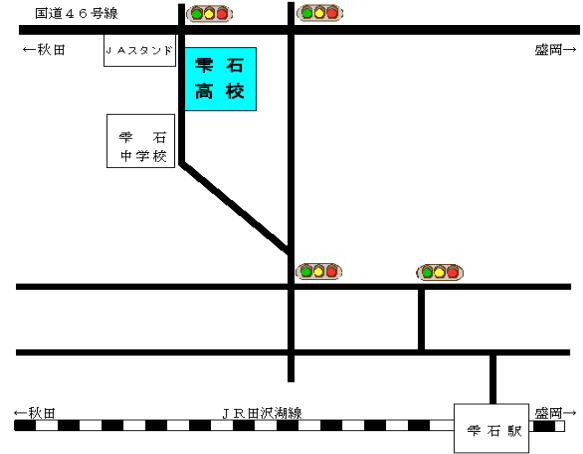
<http://www2.iwate-ed.jp/shz-h/>

交通機関

JR田沢湖線雫石駅から徒歩20分

校長名

佐々木 佳史



1 設置学科等

課程	学科名	設置年度	令和3年度生徒数		
			1年	2年	3年
全日制	普通科	昭和43年度	28	20	24

2 本校のめざす生徒像

- ア 主体的に学ぶ意欲を持ち、自己実現に向けて努力する生徒
- イ 未来を切り拓く意欲を持ち、地域や社会へ貢献する生徒
- ウ 心身ともに健康で、集団や個人を尊重する姿勢と豊かな感性を持った生徒

3 令和4年度の入学者選抜方法について

令和4年度募集定員及び選抜方法等は、令和3年10月の決定後に掲載します。 ※以下は参考（昨年度）

①推薦入学者選抜（令和3年1月27日実施）

学科名	普通科	定員	40人
募集定員	10%（4人）		
推薦基準	次の1～4の条件を満たした上で、5の条件のいずれかに該当する者 1 本校の教育を受けるに足る能力・適性を持つ者 2 人物に優れ、基本的な生活習慣が身に付いており、他の生徒の模範となる生活を送っている者 3 志望理由が明確かつ適切で、学習活動に意欲的に取り組み、入学後も意欲的に高校生活を送ることが期待される者 4 中学校3年間の欠席日数が原則10日以下の者 5 生徒会活動、校外でのスポーツ、文化・芸術、ボランティア活動、地域貢献活動等に積極的に取り組んだ実績を持つ者 ただし、当該の活動を義務づけるものではない。 なお、5は応募資格Aに該当する。		
検査内容	1 面接（志願理由書・調査書を踏まえて実施） 個人面接（15分） 2 作文 与えられたテーマについて、600字程度で自分の考えを述べる（50分）		
選抜方法	1 調査書（100点） 「各教科の学習の記録」（一般入試における調査書換算点440点を100点に圧縮） 2 実績（100点） 調査書及び志願理由書に記載されている実績 3 面接（100点） 4 作文（100点） <合計 400点> ※ 合計点をもとに、総合的に判断して選抜する		

②一般入学者選抜（令和3年3月9日実施）

学科・学系・コース	定員	A B C選考の割合	B選考における学力検査と調査書・面接等との比率	C選考における学力検査と調査書・面接等との比率	小論文・作文 適性検査 実施の有無	傾斜配点
		A : B : C	学力検査 : 調査書面接等	学力検査 : 調査書面接等		
普通科	40	7 : 2 : 1	3 : 7	7 : 3	無	実施しない

4 特色ある教育活動 **本校の魅力発信についての取り組みは→★こちらをご覧ください★**

(1) 学習指導

ア 基礎・基本を重視した指導

イ 2・3学年では進路、興味関心に応じた学習が可能

科目は共通科目と選択科目に分かれ、生徒一人ひとりの進路、興味関心に応じた科目選択が出来ます。

ウ 個々の能力を伸張させ、進路目標の達成を目指す指導（個別指導）

進学指導…主に推薦入試を活用。放課後の小論文指導、面接指導を徹底的に行っています。

就職指導…面接指導等を中心に、「100%就職決定」を目指した指導を行っています。

エ 各種資格の取得指導

漢字検定、実用英語検定、情報処理検定、ビジネス文書実務検定、珠算・電卓実務検定、被服製作技術・食物調理技術検定など

オ 総合的な探究の時間

町のキャリア教育支援事業である「虹色コンパス」と連携し、自らの興味関心に基づき、主体的に未知を探究する活動に取り組んでいます。

(2) 部活動

陸上競技部、バスケットボール部、ソフトテニス部、バドミントン部、ボート部、バレーボール部、茶華道部、軽音楽部、コンピュータ部があり、恵まれた施設・環境と熱心な指導者のもと、生き生きと活動し、自己錬磨に励んでいます。ボート部の東北大会や全国大会への出場、スキー部の国体出場など目を見張るものがあります。（スキー部は、令和2年度より休部扱いとなっています。また、硬式野球も令和3年度より休部扱いとなっています。）

(3) 生徒会活動

ア 生徒会執行部を中心に団結して活動しています。特に学年マッチ、思郷祭、雪上運動会などの行事は盛大に行われます。

イ 郷土芸能委員会（上駒木さんさ踊り、よしやれなど）

平成26・27年度全国高校生伝統文化フェスティバルに招待され、2年連続で参加しています。栗石町の断絶演目であった「亀の子つき唄」を栗石町社会教育課や町内各芸能保存会と協力し、24年ぶりに復活させるなど、栗石町の文化継承にも積極的に取り組んでいます。

平成30年度岩手県高等学校総合文化祭では優秀賞（1席）を受賞し、令和元年度に佐賀県で行われた全国大会へ出場し、文化連盟賞をいただきました。



(4) 国際交流事業

栗石町国際交流協会との合同事業として、生徒をドイツへ派遣する計画があります。

5 諸経費

(1) 諸会費（令和3年度1学年の場合）年58,000円（5,800円×10か月）

内訳：PTA会費、同窓会費、教育振興費、生徒会費、部活動援助費

(2) 学年費（令和3年度1学年の場合）36,500円

内訳：掛金・負担金、生徒指導関係、学習関係、進路関係、保健関係、学年関係

(3) 入学時に要する費用（令和3年度女子の場合）72,737円

※入学者全員に対して、実費上限15万円のうち、費用の30%の補助あり

内訳：制服、校章バッジ、履物、運動着など

※授業料については、（”7 公立高等学校就学支援制度に関する県教育委員会からのお知らせ”）参照

6 校長から一言

本年度で創立73年目を迎えた本校の校訓は「点滴穿石」です。これは、「したたり落ちる一滴一滴の雫でも、途絶えることなくその営みをつづけていくと、固い岩にも穴をあけることができる」ということを表しています。このことから、「毎日、一定の努力を継続することの素晴らしさ」を意味するものです。この校訓は、長く受け継がれ本校生徒の精神的な支柱になっております。

この「あこがれの丘」雫石高校には、次の2つの特徴があります。

(1) 「一人ひとりが輝く」学校です。

生徒数が少ない分、お互いの顔が見えて安心して学校生活を送ることができます。また、生徒一人ひとりが自分の可能性を伸ばすために、学校生活の様々な場面で主役となって活躍しています。その様子は、学校ホームページにある月1回の広報誌「穿石」に掲載しておりますので、是非、ご覧ください。

(2) 「地域の期待に応え、進路目標達成率100%」の学校です。

インターンシップや事業所見学、保育実習、ボランティア活動、国際交流、郷土芸能公演など、地域との交流を通じた多彩な体験的学習から、主体性と社会性を育み進路達成へとつなげています。また、雫石町から多大な支援を受け、生徒、保護者、学校、地域が一体となって、より魅力ある新生雫石高校づくりに取り組んでいます。とりわけ、令和2年度からスタートした「虹色コンパス」事業は、地域の課題に取り組む主体的な探究活動として取り組んでいます。

そのような「あこがれの丘」雫石高校で、一人でも多くのおみなさんが集い、ともに学びを深め合うことを期待しています。



・ 思郷祭



・ 雪上運動会



・ 学年マッチ



・ あいさつ運動

7 公立高等学校就学支援金制度に関する県教育委員会からのお知らせ

- (1) 平成 26 年度から県立高校の授業料に高等学校等就学支援金制度が導入されました。
- (2) この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。
- (3) 一定の所得未満とは、保護者等の道府県民税所得割と市町村民税所得割の合算額が 50 万 7,000 円未満です。
- (4) 手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定ですが、制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度(新制度)について」をご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/index.htm

【参考】県立高校授業料（月額）

全日制 9,900 円 定時制 2,700 円 通信制（1 単位）190 円

8 雫石町からの支援について

- (1) 新入生に対し入学時に必要な経費の一部に助成があります。（対象・新入生全員）
- (2) 公共交通機関を利用して通学している生徒に交通費の一部に助成があります。
（対象・雫石町外からの通学生）
- (3) 在校生の健全な食生活を図るため、副食費の一部に助成があります。（対象・全校生徒）
- (4) 海外交流や郷土芸能活動、文化・スポーツ活動に対する助成があります。
- (5) 学力向上対策やキャリア教育対策への助成があります。
- (6) 町奨学金制度では、「雫石高校特別枠」として雫石高校卒業後に進学し、町内で勤務、居住の場合、半額免除となります。
- (7) 町バスによる大学見学や職場訪問、登下校の通学利用ができます。
- (8) タブレット型 PC を導入し、学習指導、進路指導、生徒会活動に活用ができます。

